

業 務 委 託 設 計 書

事業年度	令和 8年度		
設計年月	令和 年 月		
予算科目	款	項	目 節
履行場所	京都市山科区上野池ノ下他地内		
路線名又は河川名等			
委託業務名	東山自然緑地樹木調査設計業務委託		
履行期間	契約日の翌日から令和 9年 3月15日まで		
事業課(所)名	東部土木みどり事務所	単価使用年月	令和 年 月
業務番号		歩掛適用年月	令和 年 月
変更回数		基準適用年月	令和 年 月
前払金支出		単価地区	

京都市 建設局

チェック欄	

委 託 概 要

業務対象面積				緑地	1
設計準備	式	1	毎木調査及び整理	ha	10.3
森林整備設計	式	1			

委 託 理 由

本業務は、東山自然緑地において、疏水通船、散策路及び周辺施設の安全性の確保のために、樹木の詳細な 調査を実施し、危険木を把握するとともに、京都市三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づき、安心安全に過ごすことが出来る魅力ある緑地づくりに向けて、今後の森林景観づくりを含めた管理計画を作成することを目的とする。
--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
業 務 費	前回	円	円	円	円
	今回	円		円	
内 業 務 価 格	前回	円	円	円	円
	今回	円		円	
訳 消費税相当額	前回	円	円	円	円
	今回	円		円	

積算参考資料（間接費補正一覽）

単価使用年月	2026年6月
歩掛適用年月	2026年6月
基準適用年月	2026年6月
単価地区	2601: I 地区

見積参考資料

積算で採用した見積歩掛は以下のとおりです。

【設計計画】

1業務当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	主任技師	人	1.0	
	技師A	人	2.0	
	技師B	人	1.5	

【現地踏査】

10.3ha当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	主任技師	人	1.0	
	技師A	人	2.0	
	技師B	人	5.0	
	技師C	人	5.0	

【毎木調査】

10.3ha当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	技師A	人	25.0	
	技師B	人	25.0	
	技師C	人	30.0	

【調査データの整理】

1業務当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	技師A	人	2.0	
	技師B	人	3.0	
	技師C	人	5.0	
	技術員	人	5.0	

【伐採樹木の選定、設計】

1業務当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	技師A	人	2.0	
	技師B	人	3.0	
	技師C	人	5.0	

【照査】

1業務当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	主任技師	人	1.0	
	技師A	人	1.0	

【報告書作成】

1業務当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	主任技師	人	1.0	
	技師A	人	2.0	
	技師B	人	2.0	
	技師C	人	5.0	
	技術員	人	3.0	

【打合せ】

1業務当り

分類	名称規格	単位	数量	摘要
直接人件費	主任技師	人	1.5	
	技師A	人	1.5	
	技師B	人	1.5	

業務委託料内訳書

業務名	東山自然緑地樹木調査設計業務委託					業 項 種 目	土木設計業務 共通	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
共通		式	1					
設計業務		式	1					
設計準備		式	1					
設計計画		業務	1				内 1号	
現地踏査		ha	10.3				単 1号	
毎木調査及び整理		式	1					
毎木調査		ha	10.3				単 2号	
調査データの整理		業務	1				内 2号	
森林整備設計		式	1					
伐採樹木の選定、設計		業務	1				内 3号	
照査		業務	1				内 4号	
報告書作成		業務	1				内 5号	
共通(設計業務)		式	1					

業務委託料内訳書

業務名	東山自然緑地樹木調査設計業務委託					業 項 種 目	土木設計業務 共通	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
打合せ等		式	1					
打合せ		業務	1				内 6号	
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					
電子成果品作成費		式	1					
電子成果品作成費(設計)		式	1					
直接原価(その他原価除く)		式	1					
その他原価		式	1				内 7号	
一般管理費等		式	1				内 8号	
設計業務価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
設計業務委託料		式	1					

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 1号	設計計画					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	主任技師 R0402		人	1		
	技師 (A) R0403		人	2		
	技師 (B) R0404		人	1. 5		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 2号	調査データの整理							
	名 称 ・ 規 格		条 件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	技師 (A)							
	R0403			人	2			
	技師 (B)							
	R0404			人	3			
	技師 (C)							
	R0405			人	5			
	技術員							
	R0406			人	5			
合 計								

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 3号	伐採樹木の選定、設計					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	技師 (A)					
	R0403		人	2		
	技師 (B)					
	R0404		人	3		
	技師 (C)					
	R0405		人	5		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 4号	照査					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	主任技師					
	R0402		人	1		
	技師 (A)					
	R0403		人	1		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 5号	報告書作成						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師							
	R0402		人	1			
技師(A)							
	R0403		人	2			
技師(B)							
	R0404		人	2			
技師(C)							
	R0405		人	5			
技術員							
	R0406		人	3			
合計							

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 6号	打合せ					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	打合せ					内 9号 03-02-01
	WS505501		業務	1		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 7号	その他原価					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	直接人件費（設計業務）					
	$\alpha / (1 - \alpha)$		式	1		
	その他原価		%			
			式	1		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内	8号	一般管理費等						
名称・規格			条件	単位	数量	単価	金額	摘要
業務原価				式	1			
$\beta \diagdown (1 - \beta)$				%				
一般管理費等				式	1			
調整額								
合計								

2 次内訳書

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 9号 WS505501	打合せ						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師							
R0402			人	1. 5			
技師 (A)							
R0403			人	1. 5			
技師 (B)							
R0404			人	1. 5			
合計							

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 1号	現地踏査		単位	ha	単位数量	10. 3	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
主任技師								
	R0402		人	1				
技師 (A)								
	R0403		人	2				
技師 (B)								
	R0404		人	5				
技師 (C)								
	R0405		人	5				
合計								
単価								

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 2号	毎木調査		単位	ha	単位数量	10. 3	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師 (A)								
	R0403		人	25				
技師 (B)								
	R0404		人	25				
技師 (C)								
	R0405		人	30				
合計								
単価								

特記仕様書

委託業務名 東山自然緑地樹木調査設計業務委託
履行場所 京都市山科区上野池ノ下他地内

第1条

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか、「土木設計業務等委託必携（令和8年2月 京都市）※1」（以下「業務等委託必携」という。）、「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン（平成23年5月 京都市）※2」（以下「ガイドライン」という。）、「災害に強い森づくりの考え方（京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン 追補）※3」（以下「ガイドライン追補」という。）によるものとする。

※1 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「設計・測量等業務委託の仕様書、様式等」参照

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000190817.html>

※2 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「景観」⇒「三山森林景観の保全・再生」⇒「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」⇒「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」参照

<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000103346.html>

※3 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「景観」⇒「三山森林景観の保全・再生」⇒「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」⇒「「災害に強い森づくりの考え方」の公開について～京都三山森林景観保全・再生ガイドライン追補」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000298521.html>

第2条 電子納品

1 本業務は電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「京都市建設局電子納品実施要領（業務編）（令和6年3月版）」（以下「要領」という。）に基づき作成された電子データをいう。

なお、要領に記載のない事項や疑義がある場合は、監督員と協議のうえ作成するものとする。

2 成果品は、要領に基づいて作成した電子成果品を電子媒体（DC-R、DVD-R、BD-R）で1部提出するとともに、紙媒体で1部提出する。なお、協議により電子成果品を2部以上提出することや部分的な紙媒体の納品も可能とする。

3 成果品の提出の際には、京都市建設局電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認後、ウイルス対策を行い提出すること。

第3条 ウィークリースタンスの実施

本業務委託は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せはWeb 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、業務委託の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第4条 前払金

前払金は、請負代金の30%以内とする。

第5条 打合せ等

- 1 業務における打合せは、業務着手時、中間打合せ1回、成果品納入時の計3回行うものとする。ただし、中間打合せは、毎木調査完了後に行うものとするが、監督員と協議のうえ、打合せ回数を変更できるものとする。

打合せ回数に変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

- 2 業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者が立ち合うものとする。

第6条 業務内容

本業務委託は、東山歴史的風土特別保存地区や風致地区に位置する東山自然緑地の樹木において、危険木に係る毎木調査を行うとともに、剪定・伐採等の管理計画設計を行うものである。

第7条 設計要件

本業務委託の設計にあたっては、「ガイドライン」及び「ガイドライン追補」の内容を反映させるものとし、東山歴史的風土特別保存地区に含まれる当該地区の特殊性を踏まえ業務を行うこと。

第8条 毎木調査及び整理

- 1 毎木調査の対象は、樹高3m以上かつ胸高直径10cm以上の樹木を標準とし、樹種名、胸高直径（幹周）、位置情報を調査のうえ、樹勢、病虫害被害等を目視により確認し、調査対象木の位置図を作成すること。また危険木については危険木調査表（樹高H，枝張W，樹勢、樹木の状況、危険度）を作成すること。また、調査対象木へのマーキングも併せて行うこと。
- 2 調査においては、国又は公有、私有の土地に立ち入る場合、関係法令に規定する身分証明書を携帯し、関係者の請求があったときはこれを提示しなければならない。

第9条 森林整備設計

毎木調査の結果を踏まえ、今後の森林景観づくりを含めた危険木の剪定・伐採等の管理計画設計を行うものである。

第10条 平面図の配置方向

平面図の配置方向は、各事業で作図の仕様が定められている場合を除き、道路台帳の起終点にかかわらず、原則として図面上方を北（方位「N」）とすること。また、図面上方を方位「N」とできない場合、図面右方を方位「N」とすること。

第11条 成果物の照査

照査の内容及び履行状況を確認するため、発注条件、設計の考え方、構造細目等の確認及び計算書等の検算等の成果について照査したことが確認できる資料を提出すること。

第12条 文書による変更手続き

業務内容の変更等により設計変更を行う必要が生じた場合には、変更契約手続きを文書により確実に行うために、必要な指示や協議等は、打合せ簿や業務等委託関係書類等の書面により行うものとし、これがないものについては、設計変更の対象としない。



調査対象範囲 (A=約10.3ha)
琵琶湖第1疏水第3トンネル入口～安祥寺橋